

岡山県地域医療支援センター 年次報告書

2019年1月～12月

Center for medical cooperation, human resources placement and career promotion of Okayama Prefecture



目次

I. ごあいさつ.....	2
II. 地域枠卒業医師のキャリア形成支援.....	4
1. 第7回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ.....	4
2. 地域枠支援会議.....	5
3. 地域枠卒業医師との面談.....	5
4. 地域枠学生との個別面談・希望進路ヒアリング.....	5
III. 地域の医療機関への地域枠卒業医師の配置.....	6
1. 前期配置候補病院の選定条件（2020年4月配置用）.....	6
2. 勤務病院決定までの流れ	7
IV. 地域医療を支える未来の医療人の育成・確保支援.....	8
1. 2019年 地域枠学生・自治医科大学生合同セミナー in 和氣	8
2. 岡山大学・広島大学の地域医療実習.....	12
3. 医学生・大学院生講義（岡山大学）.....	12
4. 燕学資金の貸与手続等に関する説明会.....	12
5. 岡山大学オープンキャンパス.....	12
6. 岡山県知事と地域枠学生・自治医科大学生との懇談会.....	12
7. 第6回 岡山県臨床研修連絡協議会.....	13
8. レジナビフェア 2019 in 大阪（初期臨床研修病院合同説明会）	13
V. 地域枠卒業医師の着任環境の整備に関する助言・支援.....	14
1. 地域の医療機関・市町村訪問.....	14
2. 初期臨床研修病院訪問.....	14
VI. 岡山大学医療人キャリアセンター MUSCATとの協力.....	15
1. シミュレーショントレーニング in 新見.....	15
2. 第4回 PIONEシンポジウム	15
3. 第10回 岡山MUSCATフォーラム.....	15
VII. 連携協力・情報発信.....	16
1. 岡山県医療対策協議会への出席.....	16
2. フォーラム・シンポジウムへの参加.....	16
3. ホームページ・facebookによる情報発信	16
VIII. 定例会の開催.....	16

1. ごあいさつ

岡山県地域医療支援センター センター長 糸島 達也

岡山大学地域枠学生が最初に入学したのが2009年4月、卒業して初期臨床研修を始めたのが2015年4月、そして地域勤務を開始したのが2017年4月です。この報告書が出るのは2020年2月ですので、丸12年が経過し、現在8人の医師が地域勤務をしています。岡山県地域医療支援センターができたのが2012年2月ですので、9年目に入ります。地域枠卒業医師の後期勤務が2021年4月から始まりますので、現在後期配置病院選定のための検討に入っています。



最初の地域勤務については成功しているように思います。地域枠医師の志が高いこともあると思いますが、勤務先の病院も努力して支援してくださっているのだと思います。2020年4月から地域枠医師が新見市でも勤務することが決まり、医師の少ない同市への配置を喜ばしく感じています。

地域枠卒業医師のキャリア形成支援のために、2013年から「地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」を毎年1回計7回開催して、地域枠卒業医師の配置先を充実させ、また、前期配置先の選考基準のためのランキングの公平で客観的な基準づくりを県下の関係者の皆様に参加していただきながら進めてきました。幸いこの3年間は乗り越えられたように感じています。しかし配置先の偏りの問題が残り、後期配置病院選定の際には改善したいと思っています。

岡山県の医師数の推移予測では、2020年も初期臨床研修医のマッチングの結果、200人近くの新人が岡山県で初期臨床研修をしてくれる予定ですし、新専門医制度での専攻医も2019年度開始で221人と人口比で言うと全国第2位です。一方、70歳で隠退すると仮定すると毎年100人前後が減少します。したがって岡山県に関しては数からいうと不足していないように思えます。ただし、最近は女性医師が3割を超え、医師の働き方改革が推進され、医療費削減がどのような影響を与えるかは予測できません。

住民の少子高齢化が進展していく一方、地域で働く医師の高齢化も進んでおり、隠退とともにその地域に医療サービスの空白ができると予想されます。しかしそういった過疎地域では、経済的にフルタイムの後任を得ることは難しいと思われます。自治体の負担でどの程度の医療を確保するのか、あるいは住民の足をどう確保するのか検討をお願いしたいと思います。ちなみに国民医療費は2017年度43.1兆円で医師数が32.3万人（2016年31.9万人、2018年32.7万人の平均値）とすると、医師1人チーム当たり1.33億円の需要が必要です。政府は財政を立て直すために社会保障費を削ろうとしています。無駄を省いて、もう10数年を乗り越えれば安定期が来ると予想しています。皆様がんばりましょう。

岡山大学の地域医療人材育成講座、認定NPO法人岡山医師研修支援機構と地域医療部会の皆様、岡山県へき地医療支援機構、医療人キャリアセンターMUSCAT、岡山県医師会などと協力して、地域枠の学生も含めた地域医療人材の育成に努めています。ご協力をいただいた皆様方にお礼を申し上げます。

岡山県庁の医療推進課の一隅で、毎週月曜日の午後、糸島達也、忠田正樹、岩瀬敏秀、医療推進課の藤原隆昭（2018年4月から）、佐藤元宣（2019年5月から随時）、センター事務員の秋田政子（2019年11月まで）、下山みどりが参加し協議しています。この報告書は主に下山さんにお世話をなりました。

岡山県地域医療支援センター センター長補佐 忠田 正樹

2019年6月から、糸島センター長を補佐する役目を仰せつかりました忠田（ちゅうだ）です。以前から認定NPO法人岡山医師研修支援機構の理事をしていた関係で、センター長に誘われて当センターに関わることになりました。私は、神経内科兼精神科医として岡山赤十字病院に35年間勤務し、その間多くの医師や研修医に接してきました。また2010年から7年間は同病院の院長を務め、医療の現場のみならず行政の在り方や地域医療の現状などを少なからず知ることができたと思います。こうした経験が当センターの業務に少しでもお役に立てればと思いお引き受けしました。



岡山県内には、二つの大学医学部があり、医療環境や医師供給には比較的恵まれている方ですが、地域によっては医療過疎、医師不足、診療科の偏在などの問題が指摘されています。

こうした課題に対する当センターの様々な活動は、この年次報告書に詳しいですが、特に近年では、地域枠医学生が次々と卒業を迎える初期研修期間を終えて地域の病院への赴任にあたり、どの地域のどの病院で勤務するのが適切なのか、配置希望病院の候補選定とマッチングについて多くの時間をかけて検討しています。

また、赴任したのちの病院でのキャリア形成支援のため、多くの病院の指導者や行政関係者が一堂に会する「地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」を毎年一回開催しています。

さらに毎年夏には、地域枠学生と自治医学生との合同セミナーを県内の各地で開催し、一泊二日の研修を通して将来お互いに地域医療を担う仲間としての懇親を深める試みも行っています。

私自身、これらのワークショップやセミナーに参加して感じることは、これから地域医療をして勤務に向かう若い医師たちに対して、地域で受け入れる病院関係者そして自治体の皆さんのが期待の大きさを感じる一方、若い医師たちは志や希望を抱きつつも、地域に飛び込むことに一抹の不安もあるだろうなということです。

そうした彼らにセンターとしてできるサポートとしては、医学生時代の地域医療の実地研修はもちろん、義務年限中の配置先の病院での教育ご指導への依頼や、自治体によるさまざまご配慮、地域住民の方々の暖かい受け入れ態勢への協力支援などでしょうか。

いずれにしても、これから地域で永く活躍される医師の皆さんに、何らかの形でお手伝いができるように貢献したいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。

岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部 専任担当医師 岩瀬 敏秀



岡山県地域医療支援センター岡山大学支部は2012（平成24）年4月に設立され、もうすぐ9年目を迎えます。地域勤務を経験した地域枠卒業医師は10名となり、今までの育成支援の成果が出てきているように感じています。また、今後はよりキャリア支援が重要になってきます。定期的な面談だけでなく、様々な機会を通じて当事者の思いを汲み、出来る限りの支援を続けていきたいと考えています。関係者の皆様、今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

II. 地域枠卒業医師のキャリア形成支援

1. 第7回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ

7月 | 28日 岡山コンベンションセンター

地域枠学生の卒後の処遇やキャリアプランはどうあるべきかについて検討する「地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」を開催しました。

午前の部では、厚生労働省「医師の働き方改革に関する検討会」のメンバーでもある岡山大学大学院地域医療人材育成講座の片岡仁美教授に『地域医療と働き方改革』をテーマに、働き方改革の今後の行方と地域医療に及ぼす影響などについて講演をしていただきました。

さらに、同じテーマでパネルディスカッションも行い、地域住民・地域医療を担う医師・病院・行政の立場から様々なご意見をいただきました。地域の人々の健康を守りながら、同時に医療人も健康でいられるように、病院は働き方改革に向けて時間の管理をしながらも、質を落とさない努力をされています。住民は医療現場の状況を知り、適正な受療の仕方を考えるなど意識を変えていくことが必要です。そして、行政はそれらをバックアップできるような施策を進めていることをお話ししていただきました。

午後の部では、昨年に引き続き「地域枠卒業医師が卒後概ね7年目以降に勤務する病院の選定基準」について検討するグループワークを行いました。

卒後3・4年目の医師を配置する場合に優先度の高い教育体制よりも、具体的に医師の不足で困っている状況が分かる指標を基準に選ぶべきだという意見を多くいただきました。地域医療支援センターがここで提案されたご意見などを参考に、2020年度に実施する「地域枠卒業医師の配置希望調査」に向けて、調査すべき項目などを精査していくことになります。



岡山大学大学院 地域医療人材育成講座
片岡 仁美 教授



パネルディスカッション（左から）
(司会) 岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部 岩瀬 敏秀 専任担当医師
(パネラー) 岡山大学大学院 地域医療人材育成講座 片岡 仁美 教授
岡山県病院協会 難波 義夫 会長
岡山県愛育委員連合会 岡崎 文代 会長
岡山県保健福祉部 則安 俊昭 参与



午後の部 グループワーク参加の皆様

2. 地域枠支援会議

当センター、岡山大学大学院地域医療人材育成講座、県医療推進課が一堂に会す「地域枠支援会議」を定期的に開催し、地域枠制度の望ましい運営の検討やそれぞれの取組状況等について協議しました。

1月	15日（第36回）	7月	16日（第40回）
2月	19日（第37回）	9月	3日（第41回）
4月	23日（第38回）	10月	15日（第42回）
6月	4日（第39回）	12月	24日（第43回）



3. 地域枠卒業医師との面談

地域勤務・選択研修（専門医研修）・初期臨床研修をしている地域枠卒業医師と個別に面談を行い、勤務の状況や研修の様子、今後のキャリアについて相談を受けました。

地域勤務	1年目 (5人)	5/28・30, 6/7・19・27
	2年目 (3人)	5/10, 9/17・27
選択研修 (専門医研修等)	1年目 (4人)	5/28, 6/12, 7/4, 9/19
	2年目 (1人)	6/3
初期臨床研修	1年目 (4人)	5/17・20・21, 6/13, 10/14, 12/4・10
	2年目 (7人)	4/18・25, 5/7・13, 6/13・17

4. 地域枠学生との個別面談・希望進路ヒアリング

地域枠学生と個別に面談し、学校生活の状況を聞いたり、大学生活・学業・将来に関するアドバイス等を行いました。また、卒業が間近になった6年生の面談では、現時点で想定する卒後9年間のキャリアプラン、将来希望する診療科等についてのヒアリングを行いました。

1月～	岡山大学・広島大学地域枠学生 (1～6年生)
9月	20日 広島大学地域枠学生 (6年生)
11月	18日 岡山大学地域枠学生 (6年生)
	20日 "
	22日 "

(在学生の内訳、2019年4月現在)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
岡山大学	4	7	7	5	6	7	36
広島大学	2	2	2	2	2	2	12
計	6	9	9	7	8	9	48

III. 地域の医療機関への地域枠卒業医師の配置

卒後3・4年目の地域枠卒業医師が地域勤務する(以下、「前期配置」という)病院の候補を決め、対象となる医師とのマッチングを行っています。候補病院を決定するにあたり、次のような調査やデータの分析をしています。

①岡山県内の医療事情と地域枠卒業医師の配置希望調査(対象:県内全163病院、調査期間:毎年4~5月)

②地域医療に関する取組調査(対象:全27市町村、調査期間:毎年4~5月)

③地域の医師不足の評価

(岡山県地域医療支援センターが、岡山県医療機能情報、厚生労働省の医師・薬剤師・歯科医師調査等のデータから得られる情報を元に分析)

2018年の調査結果を基に、2019年4月から地域枠卒業医師5人を新たに前期配置しました。2018年4月から勤務している3人と合わせて、8人の地域枠卒業医師が地域で活躍しています。

令和元年度第1回岡山県医療対策協議会で、昨年に引き続き、県北の保健医療圏の医師の充足状況を勘案した上で、県南の保健医療圏にも可能な範囲で配置することが了承されましたので、2019年の調査結果を基に2020年4月から前期配置される病院の候補を5病院選定しました。マッチングにより決定した3人の医師と、産婦人科の専攻医1人が新たに勤務を開始し、継続勤務する6人の医師と合わせて10人が地域勤務となる予定です。

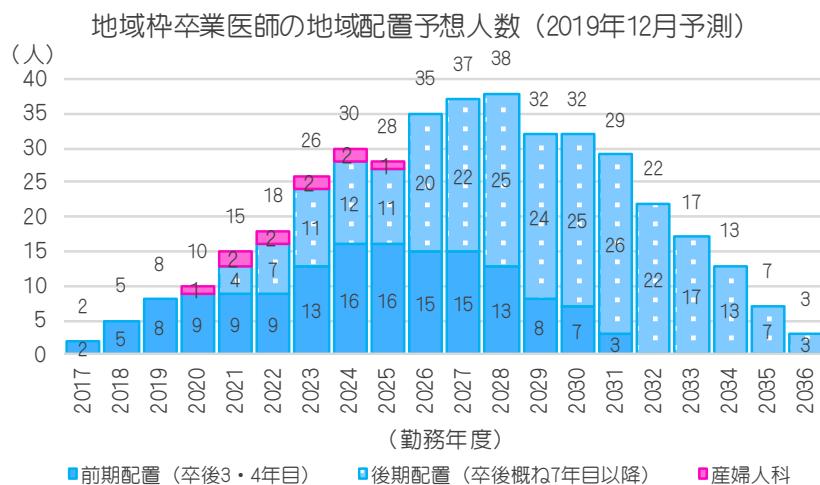
2018年に引き続き、2019年も卒後概ね7年目以降の医師が地域勤務する(以下、「後期配置」という)病院を選定するための、予備調査を行いました。2020年には、2021年4月から後期配置する病院の候補を選定し、マッチングを行いますので、「第7回地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」(グループワーク)でいただいた配置候補病院の選定方法についてのご意見を参考に、2020年に実施する調査内容・評価方法を検討しています。

①~③の調査結果については、ホームページで報告しています。

<https://chiikiiryoukayama.wixsite.com/centerokayama/haichi>

(地域枠卒業医師の勤務状況の内訳、2019年4月現在)

地域勤務(勤務開始年月、勤務病院数)	人数	選択研修(研修病院)	人数	初期臨床研修(研修病院)	人数
2018年4月 成羽病院					
〃 落合病院					
〃 湯原温泉病院					
2019年4月 赤磐医師会病院	8人	岡山市立市民病院 岡山大学病院 津山中央病院	6人	岡山済生会総合病院 岡山市立市民病院 岡山大学病院 津山中央病院	10人
〃 笠岡第一病院					
〃 高梁中央病院					
〃 金田病院					
〃 積善病院					



1. 前期配置候補病院の選定条件 (2020年4月配置用)

①地域 配置希望 調査 医師 (病院)	教育指導体制	症例検討会の実施状況、学習環境の整備、医学生・研修医の受け入れ実績等、若手の育成環境が整えられているかどうかを評価	100点満点で病院を評価する
	地域で 果たしている役割	救急告示病院等の認定状況、行政や近隣の医療福祉施設との協調体制、地域の現状の把握状況を評価	
	待遇と勤務環境	雇用形態や給与、他施設での研修、休暇・休業等の待遇などを評価	
	救急車の受入状況	2年間の救急車受入実績（医師1人あたり・1病床当たり）を評価	
	新専門医制度への取組状況	基本診療領域の連携施設・特別連携施設としての認定状況を評価	
	経営状況	2年間の医業利益率と医業収益（医師1人当たり）を評価	
②地域医療に関する取組調査（市町村）	医療人確保や地域医療充実のための施策等の自治体の取組を評価		保健医療圏ごとの候補病院数決定の指標とする
	③地域の医師不足	医師数、医師の高齢化の状況、病院へのアクセス状況等を加味したうえで地域の医師不足状況を評価	

2. 勤務病院決定までの流れ

【2019年4月配置】

- 3月 7日 知事が5病院を地域卒業医師の地域勤務病院に指定
 地域勤務開始
 (高梁中央病院・金田病院・積善病院・赤磐医師会病院・笠岡第一病院 各1名)

【2020年4月配置】

- 4～5月 ①岡山県内の医療事情と地域卒業医師の配置希望調査（病院）
 ②地域医療に関する取組調査（市町村）
- 5月 31日 「令和元年度 第1回 岡山県医療対策協議会」
 • 昨年に引き続き、県北の保健医療圏の充足状況を勘案した上で、県南の保健医療圏にも可能な範囲で配置することが了承された。
- 7月 28日 「第7回地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」
 • 2019年4月から新たに地域卒業医師5人が地域勤務を開始した旨を報告した。
 • 2020年4月から地域卒業医師が地域勤務を開始する病院の選定方法を説明した。
 • 2020年4月以降の配置の見通しを報告した。
- 10月 上旬 2020年4月から地域勤務を開始する地域卒業医師の配置候補病院決定
 • 地域卒業医師の地域勤務の意思確認を行い、3人がマッチング対象となった。
 • 地域卒業医師の配置を希望する病院（県北3保健医療圏19病院）から、高梁・新見圏域2病院、真庭圏域2病院、津山・英田圏域1病院を候補病院として選定した。
- 4日 マッチング開始
- 14日 「地域卒業医師と候補病院の合同説明会」
 • 岡山大学病院 MUSCAT CUBEにて、候補病院5病院による病院紹介、地域勤務希望者3人の自己PR、面談などを行った。
- 12月 13日 勤務希望病院・採用希望者の順位表提出期限
- 18日 マッチング結果・産婦人科医配置の確認
 • 岡山県地域医療支援センター定例会にて、地域勤務希望者3人と候補病院5病院のマッチング結果を確認した。（成羽病院（高梁市）・渡辺病院（新見市）・中島病院（津山市）が地域勤務病院に決定）
 • 産婦人科については、津山中央病院（津山市）に専攻医1人を配置する。



IV. 地域医療を支える未来の医療人の育成・確保支援

1. 2019年 地域枠学生・自治医科大学生合同セミナー in 和氣

岡山大学・広島大学の地域枠学生、自治医科大学学生が集まる合同セミナーは今年8回目を迎えました。将来共に働くことになる仲間と学び、親睦を深めるため、岡山大学大学院地域医療人材育成講座共催のもと、和気町鶴飼谷温泉等で開催しました。

概要						
日程	2019年8月17日(土)～18日(日)					
場所	赤磐医師会病院／赤磐市国民健康保険佐伯北診療所／学び館サエスタ 岡山大学鹿田キャンパス融合棟 和気町鶴飼谷温泉					
参加学生	岡山大学医学部医学科 岡山県地域枠／高梁市地域枠／広島県地域枠／兵庫県地域枠 広島大学医学部医学科 ふるさと枠 自治医科大学					
スタッフ等	岡山県地域医療支援センター 岡山大学大学院地域医療人材育成講座 岡山県保健福祉部医療推進課					
メティカルラリー・ファシリテーター	岡山大学大学院 救命救急・災害医学分野 " 災害医療マネジメント学講座 " 高齢者救急医療学講座 " 附属医療教育センター " 地域医療人材育成講座 " 県南西部(笠岡)総合診療医学講座 岡山赤十字病院 救命救急センター 岡山大学大学院 救命救急・災害医学分野 (特定非営利活動法人ピースワインズジャパン) 岡山大学大学院 痘学・衛生学分野 (倉敷中央病院 小児外科) 岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部					
メティカルラリー・協力者	教 授 中尾 篤典 教 授 中尾 博之 講 師 万代 康弘 助 教 小崎 吉訓 教 授 片岡 仁美 准 教 授 小川 弘子 救 急 副 飯田 淳義 大 学 生 稲葉 基高 大 学 生 豊岡 晃輔 専任担当医師 岩瀬 敏秀					
地域医療・福祉の現場訪問など	馬場 雅子 藤原 幸恵 金田病院 (地域枠卒業医師) 医員 石田 智治 岡山済生会総合病院 ("") 初期研修医 曰笠 晋太郎 岡山大学病院 卒後臨床研修センター ("") "					
災害医療総論	(講師) 岡山大学大学院 地域医療人材育成講座 赤磐医師会病院 ("") " (地域枠卒業医師) (") 赤磐市国民健康保険佐伯北診療所 (") 和気町民生福祉部 (") 和気町健康福祉課 (") 和気クラブ					
地域(和気町)の医療機関	佐藤 勝彦 佐藤 敦彦 尾下 遼 牧野 浩二 岡本 芳克 松田 明久 古川 美保 萩原 秀紀 北川 埞之 平賀 資正 荻野 健次					
教 授 中尾 博之(再掲)	(講師) 岡山大学大学院 災害医療マネジメント学講座					

プログラム

【奇数学年】

- 9:15 (岡山駅) 集合
10:00 (赤磐医師会病院)
院長・地域枠医師講話、見学
12:00 昼食
13:15 (佐伯北診療所)
所長講話、見学
14:00 (学び館サエスタ)
和気町の医療事情の説明・健康体操

8月
17日
(土)



赤磐医師会病院
佐藤 敦彦 院長

【偶数学年】

- 8:30 (岡山大学鹿田キャンパス融合等) 集合
9:00 メディカルラリー＜前半＞
11:15 昼食
12:30 メディカルラリー＜後半＞



赤磐医師会病院
尾下 遼 医師(地域枠)

【全学年】

- 16:00 ~ 16:30
(和気鶴飼谷温泉) チェックイン
17:00 和気町民生福祉部長講話
18:00 懇親会(夕食)
9:00 講義「災害医療」
11:00 昼食
12:00 ワークショップ「災害医療」
14:30 帰路
16:00 岡山駅～岡山大学鹿田キャンパス着

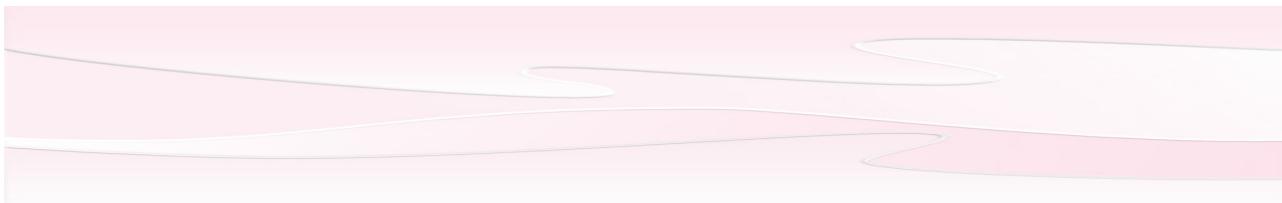
8月
18日
(日)



佐伯北診療所
牧野 浩二 所長



和気町鶴飼谷温泉にて



[1日目 奇数学年]

地域の医療現場である赤磐医師会病院と佐伯北診療所を見学しました。赤磐医師会病院の佐藤院長からは病院の概要を、4月から当病院で地域勤務を開始した地域卒業医の尾下先生からは、積極的に整形外科の手術などを経験している様子などを伺いました。また、佐伯北診療所の牧野所長からは、耳鼻科医としての専門性を生かしながら、地域の実情に合わせて、新しいことにも積極的に取り組まれていることを伺い、その様子に、学生たちは将来の自分の姿を重ねていました。午後からは、和気町の保健医療等の実情をお聞きしたり、住民の健康のための取組「よっこらどっこい体操」を体験したりしました。

[1日目 偶数学年]

岡山大学鹿田キャンパス融合棟でメディカルラリーを行いました。大腸がんイレウスで救急搬送された患者への対応など、実際に地域医療の現場で起こり得る8つのシチュエーション（写真①～⑧）を通して、現場で求められる知識に触れ、目指すべき方向性を実感することが出来ました。

[1日目 全学年]

夕方からは、全員が「和気鵜飼谷温泉」に集合し、和気町の民生福祉部長より、地域の医療・保健福祉についてお話を伺いました。懇親会（夕食）には和気医師会長の萩原先生をはじめとする地域の先生方がお越しになり、学生たちが地域医療を担う力となるようにと温かい言葉をいただきました。

[2日目 全学年]

今年は、昨年の豪雨災害をきっかけに、災害をより身近なものとして考えていくことになりました。まず、岡山大学大学院災害医療マネジメント学講座の中尾博之教授より災害医療について講義をしていただきました。災害時の医師の役割、そこでマネージメントを成功させる秘訣などをお聞きしました。その後、5年生が企画した災害医療に関するワークショップを行いました。ゲームなども交えて親睦を深めつつ、災害医療と地域医療の似ている点などにも気づき、これらに関わっていくことのモチベーションを上げる貴重な体験になりました。

参加した学生からは、「学びの多い2日間だった。学生同士、また、先生方との交流もできて良かった。」との感想をいただきました。



①大腸がんイレウスで施設から搬送された人への対応
ビースウィンズジャパン
稻葉 基高 医師



②大腿を切った人への対応
岡山大学大学院 高齢者救急医療学講座
万代 康弘 教授



③くも膜下出血の患者を転院搬送する際の対応
岡山大学大学院 救命救急・災害医学分野
中尾 薫典 教授



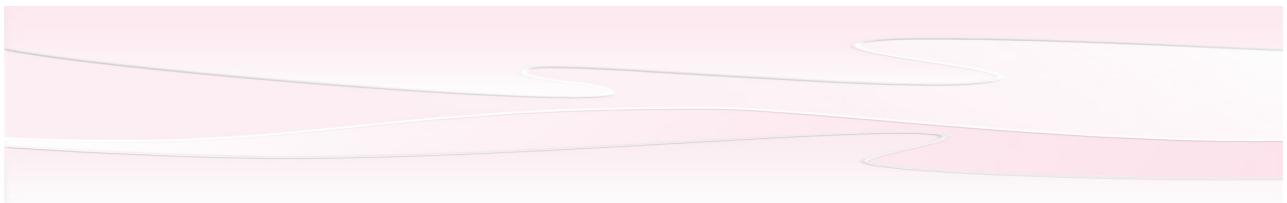
④蛇にかまれた人への対応
岡山大学大学院県南西部（笠岡）総合診療医学講座
小川 弘子 准教授
岡山赤十字病院 救命救急センター
救急科 飯田 淳義 副部長



⑤外来患者のトリアージ
岡山大学大学院 地域医療人材育成講座
片岡 仁美 教授
岡山済生会総合病院
日笠 晋太郎 医師



⑥患者から謝礼を受け取ってほしいといわれた時の対応
倉敷中央病院 小児外科
豊岡 晃輔 副医長



⑦状態の悪化しつつある方の今後を検討する場
金田病院 石田 智治 医師
岡山大学卒後臨床研修センター 濱崎 比果瑠 医師



⑧食後から嘔吐を繰り返す人(キノコ中毒)への対応
岡山大学大学院 附属医療教育センター 小崎 吉訓 助教



ランチョンセミナー
ピースワインズジャパン
稻葉 基高 医師



和気医師会
萩原 秀紀 会長



北川病院
北川 勲之 理事長



平病院
平 資正 院長



備前市立吉永病院
荻野 健次 院長



岡山県保健福祉部
中谷 祐貴子 部長



和気町民生福祉部 岡本 芳克 部長



講義「災害医療総論」
岡山大学大学院 災害医療マネジメント学講座
中尾 博之 教授



ワークショップ「災害医療」



よっこらどっこい体操 和気クラブ
古川 美保 理事長



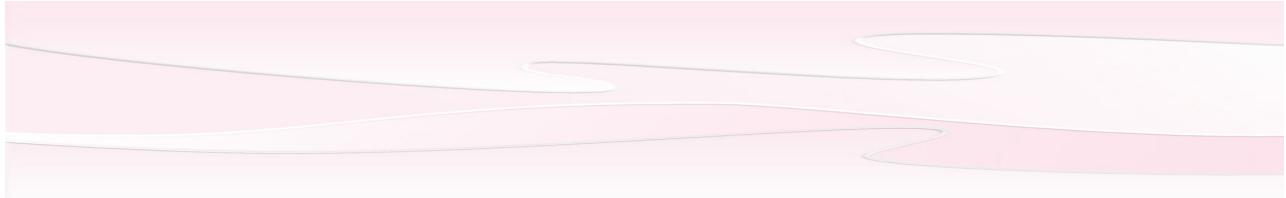
懇親会



和気町健康福祉課 松田 明久 課長



赤磐医師会病院にて (奇数学年)



2. 岡山大学・広島大学の地域医療実習

岡山大学の実習において、地域医療支援センター岡山大学支部は一部の学生の実習期間中の日報に対するコメントを担当しました。広島大学の実習においても、実習協力施設との調整を行いました。

【岡山大学】

3月	7日	選択制臨床実習オリエンテーション
5月	29日	離島実習オリエンテーション
9月	5日	選択制臨床実習報告会
10月	10日	1年生実習報告会

【広島大学】

3月	27日	実習説明
----	-----	------

3. 医学生・大学院生講義（岡山大学）

「実習に行く前に」

1月	15日	地域医療体験実習に参加する学生に対して講義を行い、望ましい学習姿勢や守秘義務について説明しました。
8月	7日	
9月	3日	
11月	26日	

「地域医療の課題」

5月	21日	岡山大学大学院講義において、地域医療に関する課題について説明しました。
----	-----	-------------------------------------

4. 奨学資金の貸与手続等に関する説明会

3月	13日
----	-----

岡山大学・広島大学の医学部医学科に入学する地域枠学生に対して、保護者同席のもと地域枠制度の趣旨と医学生としての心構えなどについて説明しました。また、新入生の皆さんには、自己紹介や入学後の抱負などについて話していただきました。



5. 岡山大学オープンキャンパス

8月	10日
----	-----

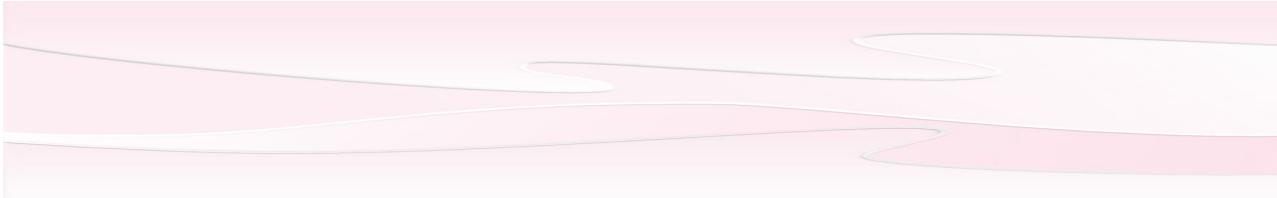
医学部医学科のオープンキャンパスに協力しました。地域枠相談コーナーを設け、岡山大学大学院地域医療人材育成講座教員と共に、高校生・保護者からの質問に対応しました。

6. 岡山県知事と地域枠学生・自治医科大学生との懇談会

3月	22日
----	-----

将来、岡山県内の医師不足地域の医療を担う岡山大学・広島大学の地域枠学生、自治医科大学生が県庁を訪れて知事と懇談を行いました。4月から初期臨床研修を開始する地域枠卒業医師4人、自治医師3人が地域医療への取り組みに向けた決意を表明し、知事から激励の言葉をいただきました。





7. 第6回 岡山県臨床研修連絡協議会

11月 | 25日

初期臨床研修の質の向上・環境の改善・臨床研修医の確保や岡山県の臨床研修病院に関する情報の発信を目的として、県内の臨床研修病院（15施設）の研修責任者等が協議を行いました。

【協議内容】

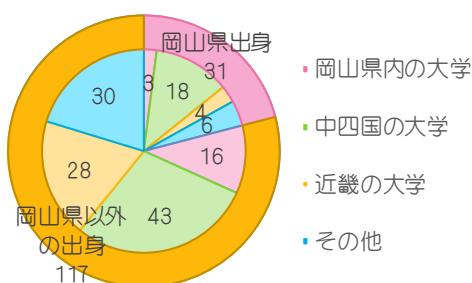
- ・2020年4月から初期臨床研修を開始する医学生等のマッチング結果
- ・2017～19年のレジナビ大阪での岡山県ブース等来訪者の追跡調査結果
- ・2019年3月に初期臨床研修を修了する研修医へのアンケート（2019年1月実施）の分析結果
- ・2019年4月から初期臨床研修を開始した研修医へのアンケート（2019年4月実施）の分析結果
- ・各病院の研修医確保のための取組状況の報告 等



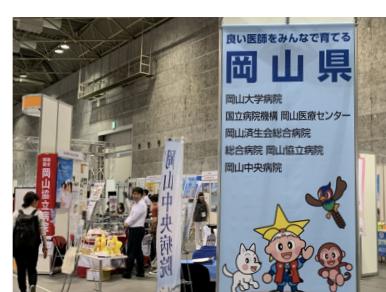
8. レジナビフェア 2019 in 大阪（初期臨床研修病院合同説明会）

7月 | 7日 インテックス大阪

岡山大学病院、岡山医療センター、岡山済生会総合病院、岡山協立病院、岡山中央病院の5病院が共同で出展し、初期臨床研修医獲得に向けて各病院のPRを行いました。岡山県ブースへの来場者は、岡山県出身者が20%、他県出身者でも岡山県を含む中四国の大学生が全体の40%を占めました。



岡山県ブース来訪者の内訳
(アンケート回答者 148人)



V. 地域枠卒業医師の着任環境の整備に関する助言・支援

1. 地域の医療機関・自治体の訪問

7月 | 1日 楠原病院

8月 | 26日 美作市

地域の医療や救急の状況、病院の取組等を把握するために県内の医療機関を訪問し、現状と今後の方針・地域における役割や地域枠卒業医師の受入体制等について意見交換をしました。

住民の高齢化、医師の高齢化に伴う医療機関の閉鎖や公共交通機関の縮小により、受療困難となった方々への対応など、地域の実情に合わせた各医療機関の取組の状況を知ることができました。

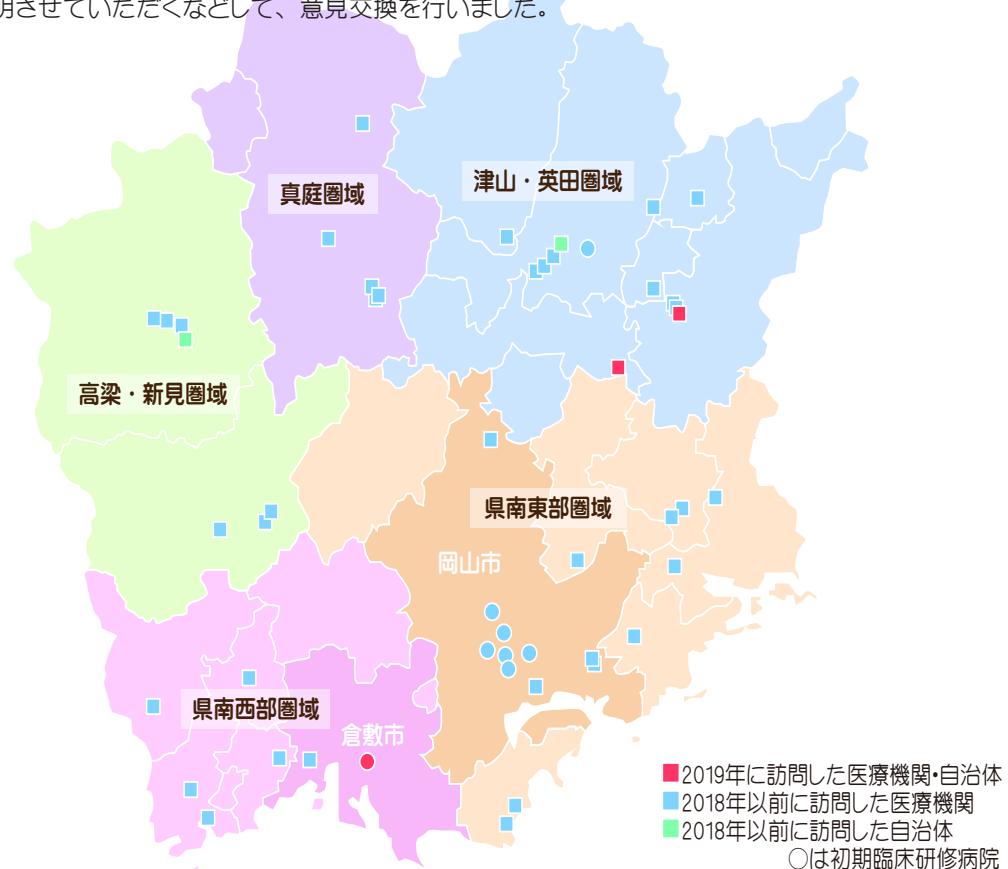
美作市役所を訪問し、医療・介護などの現状について説明を受けました。また、地域枠制度について、現状や今後の見通しなどを説明させていただくなどして、意見交換を行いました。



楠原病院訪問



美作市訪問



2. 初期臨床研修病院訪問

12月 | 9日 水島協同病院

初期臨床研修プログラムの概要や教育方針について意見交換を行うため、研修病院を訪問しました。

地域枠卒業医師が1人で総合診療を行える力や、リーダーとしてチーム医療や屋根瓦式指導が行える能力を習得できるよう指導をお願いしました。

岡山大学医療人キャリアセンター MUSCAT が主催する企画に協賛しました。



水島協同病院訪問

VI. 岡山大学医療人キャリアセンター MUSCAT との協力

1. シミュレーショントレーニング in 新見

2月	2日	新見公立大学	対象：新見市内の介護施設に勤務する看護師・介護士
6月	29日	〃	対象：新見市内の医療機関に勤務する看護師
11月	9日	〃	対象：新見市内の介護施設に勤務する看護師・介護士



病棟・外来や介護施設の現場で実際に起こり得る場面を想定したシナリオを実践し、患者の状態確認や初期対応、医師への報告などを確認しました。こうした取り組みによって地域の医療機関や施設の教育力が強化されることを期待しています。

2. 第4回 PIONEシンポジウム 『住み慣れた新見で暮らし続けるために』～地域包括ケアシステムの視点から～

11月	2日	新見公立大学
-----	----	--------

医療者と住民が一緒になって、これから的新見の医療と暮らしを考え、共に支えあうためのアイデアを出し合うシンポジウムを開催しました。自分の暮らす地域にどのような医療システムがあり、何ができる何ができないのか、何を準備しておけばよいのかを考えました。



3. 第10回 岡山MUSCATフォーラム 『私が輝く、あなたが輝く』

11月	17日	地域医療人材育成センターおかやま (MUSCAT CUBE)
-----	-----	--------------------------------

ご夫婦ともに医師として第一線で活躍されている聖路加国際病院の山内英子先生・山内照夫先生のご講演を通じて、パートナーやチームがお互いを尊敬し支え合い、共に輝くための秘訣や考え方について学びました。



VII. 連携協力・情報発信

1. 岡山県医療対策協議会への出席

医療法及び医師法の一部改正により平成31年4月から「地域医療対策協議会」が機能強化されることになりました。これに伴い、「地域医療支援センター運営会議」と「へき地医療支援会議」が「医療対策協議会」に統合されました。

5月	31日（第1回）	議題（1）平成30年度事業実績及び令和元年度事業計画 （2）令和2年4月から勤務を開始する地域枠卒業医師の勤務病院選定方法	ほか
11月	7日（第2回）	議題（1）岡山県医師確保計画（素案） （2）2020年度専攻医の募集におけるシーリング 報告（1）令和2年4月から勤務を開始する地域枠卒業医師のマッチング状況	

2. フォーラム・シンポジウムへの参加

地域枠学生・地域枠卒業医師のキャリア形成や地域枠制度の在り方を考えるフォーラム・シンポジウムに参加し、情報の収集・発信に努めました。

2月	9日 第9回 中四国地域医療フォーラム「地域枠出身者の配置システム」	主催：広島大学医学部地域医療システム学講座 参加者：中四国各県の地域医療に関わる大学関係者、県行政担当者、地域医療支援センター職員、地域枠学生等
	16日 「地域枠制度についての意見交換会（西日本ブロック）」	主催：一般社団法人全国医学部長病院長会議
3月	1日 第11回 全国シンポジウム「地域推薦枠医学生の・卒前・卒後教育をどうするか？」 ～地域医療対策協議会の役割の変遷を受けて～	主催：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野／離島へき地医療人材育成センター

3. ホームページ・Facebookによる情報発信

岡山県地域医療支援センターの活動状況の報告や分析資料の掲載を随時行っています。

「ホームページ」 <https://chiikiiryouokayama.wixsite.com/centerokayama>
「facebook」 <https://www.facebook.com/chiikiiryou33>

VIII. 定例会の開催

1. 定例会の開催

毎週月曜日、岡山県医療推進課において、岡山県地域医療支援センターの運営について協議を行っています。

年次報告書

2019年1月～12月

<発行 2020年2月>

岡山県地域医療支援センター

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6
岡山県保健福祉部医療推進課内
TEL: 086-226-7381 / FAX: 086-224-2313
E-MAIL: chiikiiryou-center@pref.okayama.lg.jp
<https://chiikiiryouokayama.wixsite.com/centerokayama>
<https://www.facebook.com/chiikiiryou33>

岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1
岡山大学医学部 MUSCAT CUBE 2階
TEL: 086-235-6833 / FAX: 086-235-6834

Center for medical cooperation, human resources placement and career promotion of Okayama Prefecture

<https://chiikiiryouokayama.wixsite.com/centerokayama>


(ホームページ)

<https://www.facebook.com/chiikiiryou33>

(facebook)